

製品名: 肝臓アルギナーゼウサギモノクローナル抗体**カタログ番号: AMRe03783**

研究使用のみ

概要

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC
反応性	マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル抗体
形態	液体
濃度	0.81mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50mM トリスグリシン（pH 7.4）、0.15M NaCl、40%グリセロール、0.01%アジ化ナトリウム、0.05%保護タンパク質
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100
分子量	Calculated MW: 35 kDa; Observed MW: 35 kDa

抗原情報

遺伝子名	Arg1
別名	Liver-type arginase; Type I arginase
遺伝子 ID	29221.0
SwissProt ID	P07824
免疫原	マウス肝臓アルギナーゼの組み換えタンパク質

背景

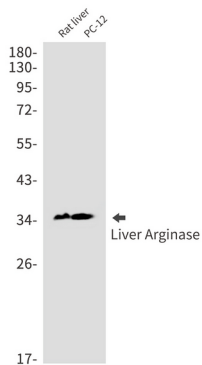
尿素回路の重要な要素であり、L-アルギニンを尿素と L-オルニチンに変換します。尿素とオルニチンはさらに代謝されて、コラーゲ

ンの合成を促進するプロリンとポリアミドに変化し、細胞増殖に不可欠な生体エネルギー経路をそれぞれ促進します。尿素回路は主に肝臓で行われ、程度は低いものの腎臓でも行われます。

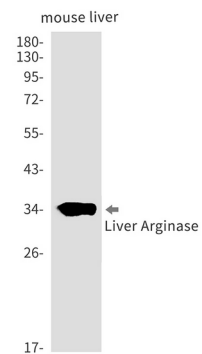
研究分野

シグナル伝達

画像データ



肝臓アルギナーゼ抗体を使用したラット肝臓 PC-12 溶解物中の肝臓アルギナーゼのウエスタンブロット分析。



肝臓アルギナーゼ抗体を使用したマウス肝臓溶解物中の肝臓アルギナーゼのウエスタンブロット分析。